

保健相法〔全〕 目次

第一講

東洋医学と西洋医学 2

五臓色体表の解説 9

血色(常色)の四季による別 16

第二講

五行と内臓 19

小人形法身体配当の解説 31

第三講

逆小人形法(女子の相法) 37

病色を察するの伝 解説(一) 42

察病(二) 51

第四講

死相(1) 病人の死相 56

死相(2) 病人以外の死相 58

第五講

天相 65

小児の相 68

妊娠の伝 72

第六講

気血色の種類と、その例題 75

一 常色 75 二 気色 77

三 血色 77

気血色各色の出方と例題 78

一 蒙色 78 二 赤色 81

三 黒色 87 四 蒙褐色、褐蒙色 88

五 湿灰色 88 六 白色 88

七 黄色 89 八 青色 90

第七講

顔面部位と病相(一) 91

上停 91 命宮 92 眉 93

田宅 93 眼 95 鼻 95

山根 96

第八講

顔面部位と病相(二) 100

年上、寿上 100 準頭 101 金甲 103

涙堂 104 人中 105 食禄 105

法令 106 唇 106 耳 107

医療雑話(一) 107

第九講

病氣と顔面部位の相関 111

山根詳論 116

山根の発育 120

山根と情緒 123

第十講

胃、肝、脾と情緒・病氣 129

胃の精神生理表 130

顔面の左右不動と病氣 135

潜在意識の問題 136

体蒙色実例(一) 山根と胃の関係 140

第十一講

体蒙色実例(二) 147

爪と健康(一) 158

第十二講

爪の相法(二) 165

体蒙色と病氣 172

肝を中心として出没する蒙色とその病氣 172

胃病の蒙色 173 宿便の蒙色 175

結膜炎、梅毒眼の蒙色 178

腰を中心として出没する蒙色とその病相 179

第十三講

腰部を中心として出没する

蒙色とその病相 185

背を中心として出没する

蒙色とその病相 191

上肢下肢(手足)を中心とする

蒙色とその病相 194

医療夜話(二) 195

第十四講

十四経絡の話 197

経絡と陰陽 197

三焦の話 199

経絡の中の詳解 201

手の太陰肺経 202

手の陽明大腸経 203

手の少陰心経 205

手の太陽小腸経 206

手の厥陰心包経 206

手の少陽三焦経 207

第十五講

十四経絡(二) 217

足の陽明胃経 217

足の太陰脾経 220

足の太陽膀胱経(二) 222

第十六講

十四経絡(三) 226

足の太陽膀胱経(二) 226

足の少陰腎経 228

第十七講

十四経絡(四) 233

足の少陽胆経 233

任脈 237

第十八講

十四経絡(五) 242

督脈 242

経穴のとり方 247

第十九講

十四経絡(六) 250

蒙色とヘッド知覚過敏帯の比較 250

膀胱経第一行 251

蒙色と経絡経穴との比較 253

耳痛の場合 253 胸の痛み 253

高血圧 254 咳 254 腹痛 255

トラコーマ 255 産後瘀血 255

腎臓病 255

第二十講

病気の診断法 257

腰根 258

十四経絡の熱症の診断 259

病気と時刻の関係 260

裏内庭 262 至室 263

医療雑話(三) 264

第二十一講 活法死相鑑別法 267

経絡を応用した診断法 268

治療の経穴(一) 269

医療雑話(四) 273

第二十二講 治療の経穴(二) 275

経絡の通路 279

十四経路便覧 283

経路と経穴 283

「病名と経穴」一覧表 285

十四経路の図解 306

ヘッド氏の知覚最高過敏点 326

第二十三講 経穴名の活用 327

五運六気論 328

食事療法 333

寿命を左右する条件 333

第二十四講 食物と生活 342

医療雑話(五) 349

第二十五講 体質と食物 351

生水の問題 357

医療雑話(六) 360

第二十六講 人相から見た甘党辛党の見方 364

妊娠時の食事 366

観相学の最大の極意と言うべき

「水野南北先生の修身録」 368

第二十七講 ビタミンA 376

ビタミンB群 378

ビタミンC 381

ビタミンD、ビタミンE 383

第二十八講 384